

科目名		授業形態	担当教員名	
基礎理学療法学演習Ⅱ		演習・講義	坂東 恵美子・安村 明子	
時間数（単位数）	授業回数	年次	開講時期	
30 時間（1 単位）	15 回	2 年次	後期	
授業の目的・概要				
理学療法評価・治療の実習での実施を見据え、対象者との対応・問診、症例情報の整理、ペーパーペーシェントを通しての統合と解釈の実際を経験し、その大切さを認識する。また実習における記録の方法を修得する。				
授業の到達目標				
1. ロールプレイなどから対象者との対応・問診を実践する。2. 症例情報を整理して、症例の全体像が説明できる。3. ペーパーペーシェントを用いて、理学療法評価、その統合と解釈、治療の立案までの流れを経験し、自ら調べたことなども含めて、障害像について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション			
2	ロールプレイ 患者様との対応を学ぶ（1）			
3	ロールプレイ 患者様との対応を学ぶ（2）			
4	症例レポートの書き方、症例報告について			
5	患者情報の分類			
6	理学療法評価からの統合と解釈（KJ法）（1）			
7	理学療法評価からの統合と解釈（KJ法）（2）			
8	理学療法評価からの統合と解釈（KJ法）（3）			
9	デイリーノートの書き方、SOAPでの記載			
10	ケーススタディ（PBL）ケース1 理学療法評価～問題点抽出			
11	ケーススタディ（PBL）ケース1 統合と解釈を書いてみよう			
12	ケーススタディ（PBL）ケース2 理学療法評価～問題点抽出			
13	ケーススタディ（PBL）ケース2 統合と解釈を書いてみよう			
14	実習			
15	実習振り返り			
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	100%	講義中に出される課題、レポートで評価する		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学	内山靖		医学書院	
PT・OTのためのコミュニケーション実践ガイド	山口美和		医学書院	
自由記載				
備考				
これまでに学んだ疾患・理学療法評価・治療に関する知識も必要です。事前にアナウンスするので、必要と思う資料を各自準備すること。				